

はじめて
みよう

ご使用前に、タブレットと同梱の「使用上のご注意・サポートガイド」と送信ユニットの取扱説明書の安全上のご注意欄をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。本ガイドでは、タブレットの以下の設定を行います。

- 初期設定
- 通信設定
- 各種設定

本ガイドに記載のない内容は、タブレットまたは送信ユニットに同梱の各説明書を参照ください。

カラーモニターセット かんたん設定ガイド

余剰買取用・全量買取用

品番 TW08A-87Z8 (タブレット)
HQJP-MUK-A2 (送信ユニット)

本ガイドでは、特にことわりのない限り余剰対応モード時の画面表示例を用いて説明しています。全量対応モードでは、一部表示されないボタンがあります。

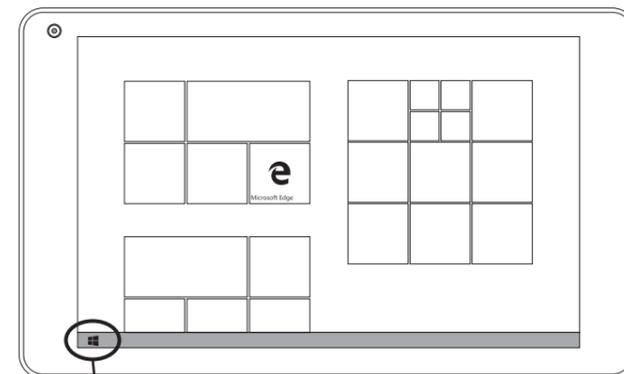
余剰：余剰対応モード

全量：全量対応モード

説明用の画面や図はイメージです。実際の画面表示や設定方法は、OS やブラウザのバージョンにより本説明書の記載と異なる場合があります。

初期設定

- ① 「こんにちは！ コルタナと申します。」と音声ガイド付きで表示されます。
⇒自動的に次の設定画面へ。
- ② 「お住まいの地域はこちらでよろしいですか？」
⇒「日本」が選択されていることを確認し、「はい」をタップ。
- ③ 「キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか？」
⇒「Microsoft IME」が選択されていることを確認し、「はい」をタップ。
- ④ 「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」
⇒追加しないので「スキップ」をタップ。
- ⑤ 「ネットワークに接続しましょう」
⇒後で行うので「スキップ」をタップ。
- ⑥ 「ライセンス契約をお読みください」
⇒条文をよく読んで「同意」をタップ。
- ⑦ 「このPC を使うのはだれですか？ 使用する名前を選んでください。」
⇒名前入力欄をタップするとキーボードが表示されますので、任意のユーザー名を入力し、「次へ」をタップ。
- ⑧ 「確実に覚えやすいパスワードを作成します」
⇒⑦ の名前入力と同様に任意のパスワードを入力し、「次へ」をタップ。
- ⑨ 「Cortana をパーソナルアシスタントとして指定しますか？」
⇒使用しませんので「いいえ」をタップ。
- ⑩ 「デバイスのプライバシー設定の選択」
⇒「音声認識を使わない」、「いいえ」、「基本」の順に選択し、「同意」をタップ。
- ⑪ 「いよいよ最後のステップです」
⇒初期化処理中ですので、そのままお待ちください。
- ⑫ 「こんにちは」から始まるメッセージが表示されます。
⇒そのままお待ちください。
- ⑬ タイル状の水色アイコンが並んだ「デスクトップ画面」(右図)が表示され、初期設定は完了です。



画面左下のWindowsボタンをタップすると、上の初期画面(スタートメニュー)に戻ります。

初期設定

【お願い】初期設定時は、必ずACアダプター、電源ケーブルを接続し、給電状態を維持してください。また途中で電源をOFFしないでください。

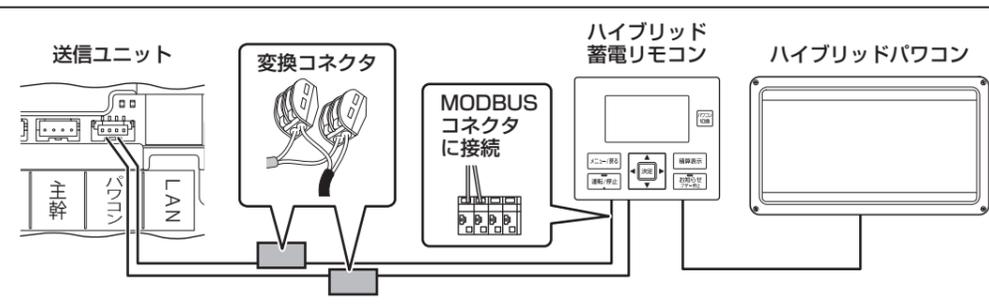
接続例1. ルーターを使用し無線LAN接続



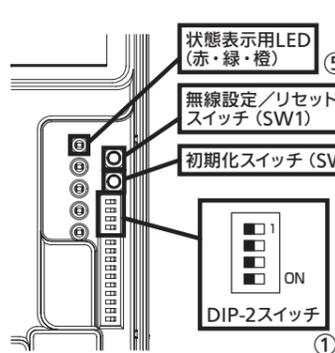
接続例2. ルーターなしで無線LAN接続(裏面)



ハイブリッド蓄電リモコンと送信ユニットとの接続は、
 ・現地手配のFCPEV線(Φ0.9-1P)と、送信ユニットの同梱品⑧を使用して接続
 ・ハイブリッド蓄電リモコンの終端抵抗スイッチ(2か所)をON
 ・送信ユニットのDIP-1スイッチの1番がOFF(余剰対応モード)である事を確認
 ・DIP-1スイッチの3番はON(通信方式: Modbus)に切り替え
 ・ハイブリッドパワコンのアドレスを「1」に設定
 (接続・設定の詳細は送信ユニットの取工説を確認ください。)



接続例1. ルーターを経由し送信ユニットとタブレットを無線LANで接続します
 まず、送信ユニットとルーターを無線LANで接続します。

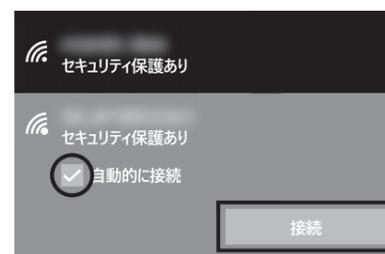


- ① 送信ユニットのDIP-2 スwitchの1番と3番をOFF側(初期値)に設定。
- ② 初期化スイッチ(SW2)を一度押す。
- ③ 送信ユニットの無線設定スイッチ(SW1)を状態表示用LEDが緑点滅するまで押す。
- ④ ルーターの無線設定用ボタンを長押しする。(メーカーにより位置や名称は異なります。目安は10秒長押しです。)
- ⑤ 状態表示用LEDが緑点滅の状態であれば待ち、橙点灯になれば接続完了です。赤点滅の場合は失敗ですので、各機器の電源、DIP-2 スwitch、ルーターとの距離を確認の上、再度実行してください。

次にルーターとタブレットを無線LANで接続します



- ⑥ アクションセンターを開き、ネットワークのタイルをタップすると、周囲のルーター等の電波状況が表示されます。
- ⑦ ご利用のルーターのSSIDを選び、「自動的に接続」のチェックが入っていることを確認して「接続」をタップ。



- ⑧ ネットワークセキュリティキーの入力欄をタップしてネットワークセキュリティキーを入力し、「次へ」をタップ。

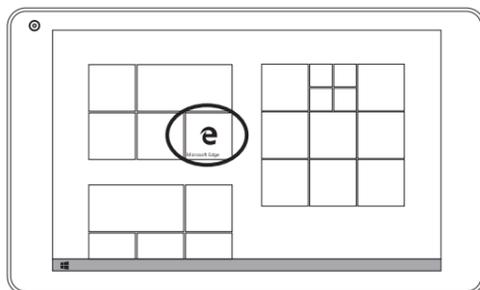


- ⑨ アクセスポイントの状況表記が「接続済み」になり、タスクトレイの無線LANボタンが点灯状態に変わります。



接続例1. つづき
最後にブラウザで表示します。

⑩ タブレットのスタートメニューから Microsoft Edgeのアイコンをタップ。



⑪ 画面中央上部のURL（インターネットのアドレス）入力欄をタップ。



⑫ キーボード画面から、以下を入力。
a) ルーターを使用時：
http://solar-monitor/ または
http://solar-monitor2/
b) ルーターなし：
http://192.168.1.1/

※アルファベット、数字、記号ともすべて半角小文字です。

⑬ OKボタンが表示されたらタップし、太陽光の発電表示になれば完了です。



⑭ URL 入力欄の右にある「☆」をタップし、お気に入りに登録してください。



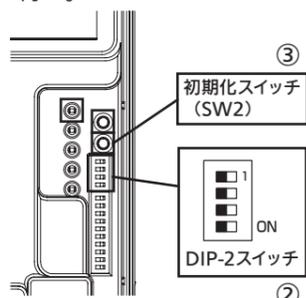
接続例2. ルーターなしで無線LANで接続

① 送信ユニット側面の定格拉ベルを確認し、下記のSSIDとネットワークセキュリティキーをメモする。

SSID (ネットワーク名)	SM_AP [] [] [] [] [] [] [] [] LH
KEY (ネットワークセキュリティキー)	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

MACアドレス (有線) の値 8桁の製造番号

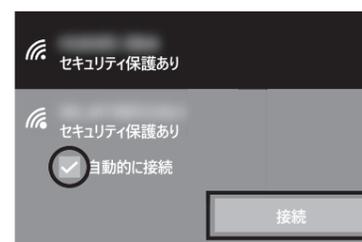
② 送信ユニットのDIP-2スイッチの3番、4番をONに設定。
③ 送信ユニットの初期化スイッチ(SW2)を一度押し、20秒以上待つ。



④ アクションセンターを開き、ネットワークのタイルをタップすると、周囲のルーター等の電波状況が表示されます。



⑤ メモした送信ユニットのSSIDを選び、「自動的に接続」のチェックが入っていることを確認して「接続」をタップ。



⑥ ネットワークセキュリティキーの入力欄をタップし、①でメモしたネットワークセキュリティキーを入力して「次へ」をタップ。



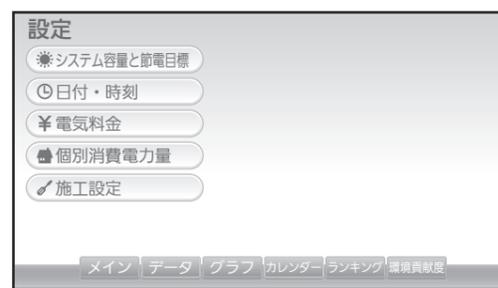
⑦ アクセスポイントの状況表記が「接続済み」になり、タスクトレイの無線LANボタンが点灯状態になります。



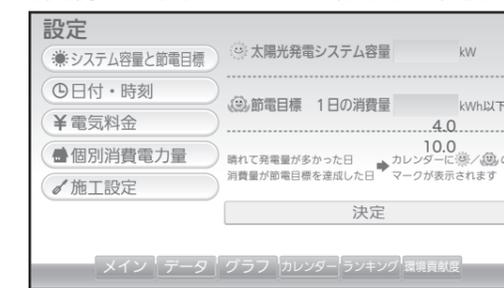
つづいて上段の接続例1.の⑩に進み、ブラウザで発電情報を表示してください。

各種設定

ご使用前に各設定内容を確認し、必要に応じて設定値を変更してください。

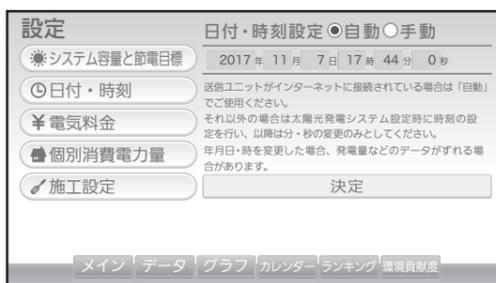


設定例1. 発電システムの定格容量と節電目標 余剰

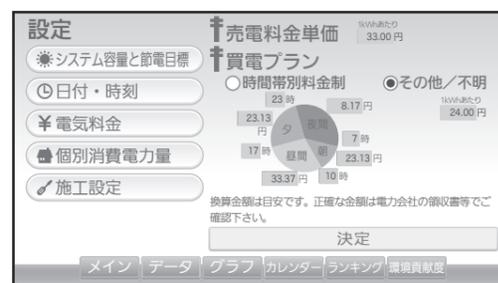


項目の数値をタップし、数値キーを用いて入力します。入力が終われば「決定」をタップ。

設定例2. 日付・時刻

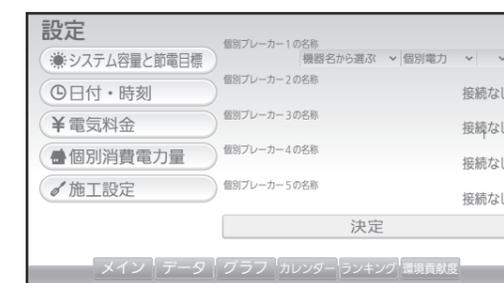


設定例3. 売電料金と電気料金



売電単価を入力。全量対応は「決定」をタップして、この項目を終了。
余剰対応は、さらに時間帯別料金制か否かを選び、時間帯とその単価を設定して「決定」をタップ。

設定例4. 個別消費電力量の名称設定 余剰



インターネット接続時や自動設定にする場合は「自動」を選び「決定」をタップ。
手動で設定する場合は、「手動」を選び、数値入力後、「決定」をタップ。

インターネット接続時や自動設定にする場合は「自動」を選び「決定」をタップ。
手動で設定する場合は、「手動」を選び、数値入力後、「決定」をタップ。